



# 福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会

〒960-1295 福島市光が丘1番地 / TEL (024) 547-1111 ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.php>

## 新任のご挨拶



麻酔科・疼痛緩和科  
部長 井上 聡己

令和3年6月1日付けで麻酔科・疼痛緩和科部長を拝命いたしました井上聡己（さとき）と申します。4月まで奈良県立医科大学に勤務しておりまして福島および東北は初めての土地になります。関西と東北は結びつきが薄く東北の方々と接する機会がなく今回初めてお付き合いさせていただくことになりましたが関西弁を温かく受け入れてくださり良いスタートが切れたかと思っております。さて、麻酔とは何でしょうか？今は当たり前のようになってはいますがつい150年ほど前までは麻酔がなかったのです。麻酔法が開発されたときに麻酔（Anesthesia）という言葉が由来しました。日本でははじめ麻睡（ますい）という言葉で紹介されましたが、単に眠っているのではないので麻酔という名称に変えられました。さて、本題に戻りますが、麻酔法開発以前の外科手術はどうだったでしょう。当然無麻酔ですから痛みを伴います。そのため時間をかけられませんか。つまり、四肢の切断術、抜歯、切開排膿ぐらいしかできませんでした。外科医は患者さんを押さえつけることが必要なため屈強な大男しかできませんでした。如何に手足を早く切断できるかが外科医の腕の見せ所でした。切断した後は止血のために焼きごてで傷口を焼くということがなされていたようです。患者さんは痛みで気を失うのは当然で中には命を落とすものもありました。

それが19世紀の中ごろにエーテルを使って意識を失わせる（鎮静）と患者さんが痛がらなく（鎮痛）、動かない（不動化）のでちょっと複雑な手術ができることが世の中に紹介されました。これが麻酔の始まりです。瞬く間に世界に広がり、麻酔のもとにどんどん複雑な手術ができるようになりました。つまり麻酔は外科学の進歩に大きく貢献した、いや麻酔なくしては外科学の発展はなかったと言えます。すごい面白い話ですが、麻酔には闇の部分もあります。麻酔の黎明期に外科手術はうまく行ったのに患者さんが死亡するということが多発していきました。患者さんは苦しまないのに死んでいったのです。これはどうしてでしょうか？実は麻酔とは脳の機能を低下させて痛みを痛みと認識できないようにしていたのです。単に眠っているのではないのです。場合によっては生命を維持するのに必要な脳の機能まで低下させていたのです。麻酔が効きすぎると呼吸が弱くなります。血圧も下がります。麻酔が掛かっているのに息が止まっても患者さんは苦しめないのです。こうやって多くの患者さんが亡くなっていきました。こういった不幸な出来事は持病を持たれている患者さん、高齢者、小さいお子さんなどでよく起こりました。ここで麻酔と患者さんの安全を守るために麻酔科医が誕生したのです。今では麻酔は麻酔科医によってより安全に行われるようになり、現在も外科学の進歩に貢献しています。また麻酔科学は鎮痛、鎮静、不動化を行いつつ、患者さんの全身管理を行い命を守るといった観点から、集中治療、救急医療、ペインクリニック、緩和医療と多方面に発展していています。

## 第54号のなかみ

- 1 ページ...○新任のご挨拶
- 2 ページ...○新任のご挨拶
- 3 ページ...○きいてください 院長さん  
○福島県立須賀川支援学校医大校校外学習

- 4 ページ...○きぼう棟の診療科を受診される患者さんの受付場所の変更等について  
○会計窓口の変更について

マチのほっとステーション  
**LAWSON**

ローソン福島県立医科大学附属病院店（エレベーターホール隣）  
ローソン福島県立医科大学店（7号館内）

病衣・タオル・紙おむつ・日用品・付添寝具

手ぶらで入院・手ぶらで退院  
**入院セットレンタル**

お申込・お問合せ先：レンタル受付窓口  
**024-548-8777**



\* 院内1階、入退院受付横 9番窓口  
月～土曜日 9:00～17:00(日祝祭日休)



## 新任のご挨拶



脳神経外科  
部長 藤井 正純

令和3年6月1日から脳神経外科・部長を拝命いたしました。自分は、モットーとして「すべての医療者は、患者さんを癒すためにある」と考えています。病気を治すことが、最大の癒しにつながることはもちろんですが、それだけではない。もし叶わない場合でも、患者さんを少しでも癒すよう尽くすこと。体だけではない、それぞれの人の心にも配慮する意味もこめていきます。実は、いつも何気なく使っている「病院」「病棟」という言葉があまり好きではありません。なぜなら、病院は病（やまい）の院、病棟は病の棟ですから、「病気・病人のいる場所」という言葉で、そこに肌のぬく

もりを感じることはできません。むしろ、癒しの院、癒しの棟、「癒院」「癒棟」と呼べたらいいと感じています。

さて、脳神経外科の分野は、日進月歩で進んでいます。そこで、当院では、より有効で安全な最新の脳神経外科医療の実践に取り組んでいます。手術室の中に、超高磁場術中MRIや血管撮影装置を備えて、手術中にMRI画像、あるいは脳血管の精密な画像を確認しながら手術を行い、さらに、手術ナビゲーションや脳機能のモニタリングなど、ハイテク技術の支援が可能です。また、言語機能など、さらに高次の脳機能を守るため、手術中に患者さんと話をしながら行う覚醒下手術も得意分野の一つです。従来大きく頭蓋骨を取り外す開頭術だけでなく、内視鏡を使った手術、カテーテルを使った血管内治療など、より患者さんに優しい手術法にも積極的に取り組んでいます。

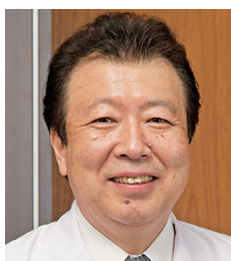


小児腫瘍内科  
部長 佐野 秀樹

令和3年4月1日付で小児腫瘍内科部長を拝命いたしましたのでご挨拶申し上げます。

当科は、小児の白血病などの血液腫瘍から、胎児性腫瘍、骨軟部腫瘍、眼腫瘍、脳腫瘍などの固形腫瘍、再生不良性貧血などの血液疾患を診療しております。「小児がん」は小児の病死原因の第一位であり、福島県で唯一の小児がん治療施設としての当科の責任と役割は重大です。そのため、我々は標準治療の提供のみならず、最新の治療を提供できるように治験や臨床試験を通じた先端的治療開発にも積極的に取り組んできました。私は、ユーンイング肉腫多施設共同臨床試験の研

究代表医師を務め、また中枢神経転移神経芽腫に対する放射線抗体療法のグローバル治験の日本側代表医師として薬事承認を目標に治験を開始したところです。その他にも南東北がん陽子線センターと連携した陽子線治療や、難治性血液腫瘍に対するHLA半合致移植の開発などの取り組みも高く評価されており、全国から患者さんが紹介されてきます。当院の素晴らしい治療環境は、多くの診療科、中央部門、医療スタッフ、養護学教師、MSWなどがPediatric Tumor Boardなどを通じて有機的に連携することで支えられております。臓器横断的な「小児がん」を一定水準で包括的に診療できる体制を維持するには多くの困難がありますが、今後も「小児がん」の子どもたちにより良い治療を提供できるよう精一杯努力していく所存でございますので、一層のお力添えをよろしくお願い申し上げます。



人工関節センター  
部長 紺野 慎一

当院整形外科では主に股関節、膝関節の人工関節置換術を人工関節センターとして専門的に行っています。現在、年間210例の人工関節置換術を行っています。前任の青田恵郎部長が今年の4月から星病院へ移動となったため、私が兼務することになりました。私の専門は脊椎外科ですが、人工関節センター部長として、お役に立てるよう努力いたします。変形性関節症の患者さんに人工関節で治療を行う場合、その患者さんに合った人工関節を正確に入れる必要があります。骨の状態が悪い骨粗鬆症の合併や腰が曲がっている変形性側弯、あるいは左右の脚長差が極端な患者さんなど、様々

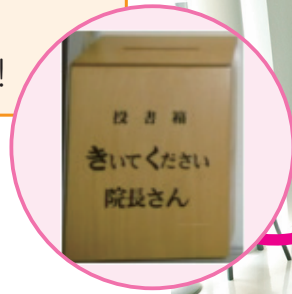
な患者さんに応じた手術をする必要があります。手術のみでなく、手術後は、しっかり患者さんのケアをしていくことが重要です。特に脚長差がある患者さんではリハビリが大変です。そこで、歩き方の指導、人工股関節の周囲に痛みや硬縮が残った場合はそれを除くための体操の指導をリハビリ担当者と一緒に情報を共有して治療を行っています。





### 移動しました!!

きぼう棟からみらい棟へ続く  
休憩スペースへ移動しました。  
皆様の声をお聞かせください!!



### いただいた御意見

#### 「会計の待ち時間が長いです」

⇒ 6月7日以降、きぼう棟の会計窓口を、今までの1階・1箇所から、1階と2階の2箇所に分け、それぞれ新しい窓口を設けました。その際、今まで2台だった自動精算機を4台に増設しました。

案内係が側に立ち説明を行うことで、今までなかなか精算機をご利用いただけなかった患者様にも、気持ちよくご利用いただくとともに、会計全体の待ち時間の緩和を目指します。

#### 「採血室が過密化しています」

⇒ 検体検査室移転の際は、過密化を解消します。

#### 「駐輪場の放置自転車を撤去してください」

⇒ 一定期間お知らせし、お申し出のない自転車は撤去しました。

#### 「診断書窓口に車イスで利用可能なテーブルが欲しいです」

⇒ テーブルを準備しましたので御利用ください。

### 福島県立須賀川支援学校医大校 校外学習 ～ドクターヘリ見学～

6月の晴れた日、福島県立須賀川支援学校医大校の児童の皆さんの校外学習として、ドクターヘリの見学会を実施しました。フライトスタッフよりドクターヘリについての説明を行い、児童の皆さんから「飛行中のスピードは？」などたくさんの質問をいただきました。その後、ヘリに搭乗し記念撮影を行い、ドクターヘリについて理解を深めていただく良い機会となりました。



福島市 太平寺 スキップフロアの家

UNNO HOUSE  
UNNO HOUSE  
CONCEPT HOUSE

株式会社ウノハウス 福島支店  
0120-36-1131

## きぼう棟の診療科を受診される患者さんの受付場所の変更等について

検体検査室移設工事に伴い、きぼう棟1階の再来自動受付機が撤去され、令和3年4月26日(月)より、きぼう棟の診療科を受診される患者さんの受付場所が、きぼう棟各診療科外来受付に変更となりました。午前8時前に来院されたきぼう棟再来予約の患者さんは、各診療科の入口付近に「整理券」がありますので、整理券を取ってお待ち下さい。はじめて受診される方や紹介状お持ちの方については、これまで通り「総合受付」で受付を行います。

また、総合受付についても現在工事中ですが、仮設の総合受付を設け、新患受付・診断書受付を行っております。新しい総合受付については、7月中旬にオープン予定です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



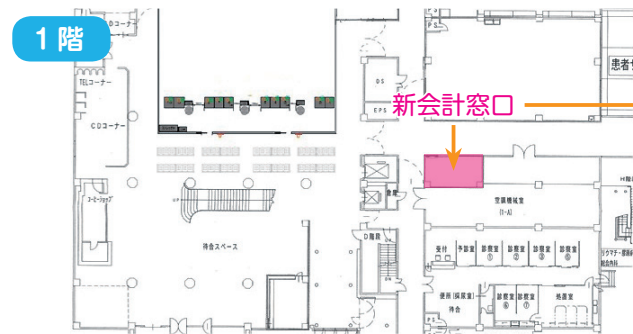
〔再来自動受付機は撤去されました。各診療科外来受付へお越しください。〕

## 会計窓口の変更について

令和3年6月7日(月)より会計窓口が下記のとおり1階と2階に設置されました。どちらの会計窓口でもお支払いすることができます。

会計窓口の営業時間は、1階が8:45~18:30、2階は8:45~17:30となっております。

また、自動精算機についても1階と2階でそれぞれ2台ずつ設置となり、これまでは当日外来分のみのお支払いしか出来ませんでした。新たに「入院分のお支払い」や「当日以前の外来分のお支払い」も可能となりました。そのため、お支払いの際は、原則患者様を自動精算機にご案内することになりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



**スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店**

**営業時間** 平日 7時~20時  
土日祝 9時~19時

アメリカ シアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。  
高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやバスター、サンドイッチをお楽しみいただけます。

すべてを地域のために

# 東邦銀行

ご利用・お問い合わせは **福島医大病院支店**

窓口営業時間：平日【午前の部】9:00から11:30  
【午後の部】12:30から15:00

電話 024-548-5331 受付時間：平日 9:00から11:30  
12:30から17:00